

「苫小牧におけるCCS大規模実証試験」 事業受託のお知らせ

日本CCS調査株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：石井 正一）は、このたび、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構*（略称：NEDO（New Energy and Industrial Technology Development Organization））の公募事業として、「苫小牧におけるCCS大規模実証試験」を受託致しました。

同事業につきましては、平成24年度から平成29年度は経済産業省の直轄事業として当社が事業を受託し実施して参りましたが、平成30年度以降は、NEDOが有する高い技術的知見や産学官の専門家との幅広いネットワークを活用して事業の進行を管理し、同事業の技術的成果を最大化することを目的として、経済産業省からNEDOを通して当社が受託する形で事業を実施していくこととなりましたので、お知らせいたします。

また、当社は、平成28年4月の圧入開始から平成30年3月末までに累計約15万トンの二酸化炭素の圧入を実施しており、今後も引き続き、地域の皆さまや関係自治体及び機関などのご理解とご協力を頂きながら、安全最優先で本事業を進めてまいります。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（略称：NEDO）

NEDOは、経済産業行政の一翼を担い、「エネルギー・地球環境問題の解決」と「産業技術力の強化」という二つのミッションに取り組む国立研究開発法人。技術開発マネジメント機関として、企業単独ではリスクが高く実用化に至らない重要技術の開発・実証の推進や、中堅・中小・ベンチャー企業の支援など、技術シーズの発掘から中長期プロジェクトの推進、実用化開発の支援まで、一貫した技術開発マネジメントにより、日本の技術力強化・エネルギー問題の解決に貢献している。

（略称：NEDO（New Energy and Industrial Technology Development Organization））

主な事業内容： 技術開発マネジメント関連業務等

代表者： 理事長 石塚 博昭

本部所在地： 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー

設立日： 2003年10月1日（前身の特殊法人は1980年10月1日設立）

URL： <http://www.nedo.go.jp/index.html>

【会社概要】

名称： 日本CCS調査株式会社
事業内容： 二酸化炭素（CO₂）の分離・回収、輸送、地中貯留（CCS）技術の事業化調査及び研究開発諸業務、実証試験
代表取締役社長： 石井 正一
本社所在地： 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号
資本金： 2億4,250万円
設立日： 平成20年5月26日
URL： <http://www.japanccs.com/>
株主： 電力、石油元売り、エンジニアリング、総合商社、石油開発、鉄鋼、ガス、化学など35社

※同時配信

苫小牧市政記者クラブ、北海道経済記者クラブ

【報道関係者からのお問い合わせ】

日本CCS調査株式会社

広報渉外部 広報渉外グループ

担当：金森、河原

TEL：03-6268-7610

FAX：03-6268-7385

苫小牧におけるCCS大規模実証事業：事業の詳細について

1. 概要

苫小牧におけるCCS大規模実証試験事業では、2012年度から2015年の間、設備の設計・建設、圧入井(CO₂を地下に圧入する井戸)の掘削、実証運転の準備などを実施しました。

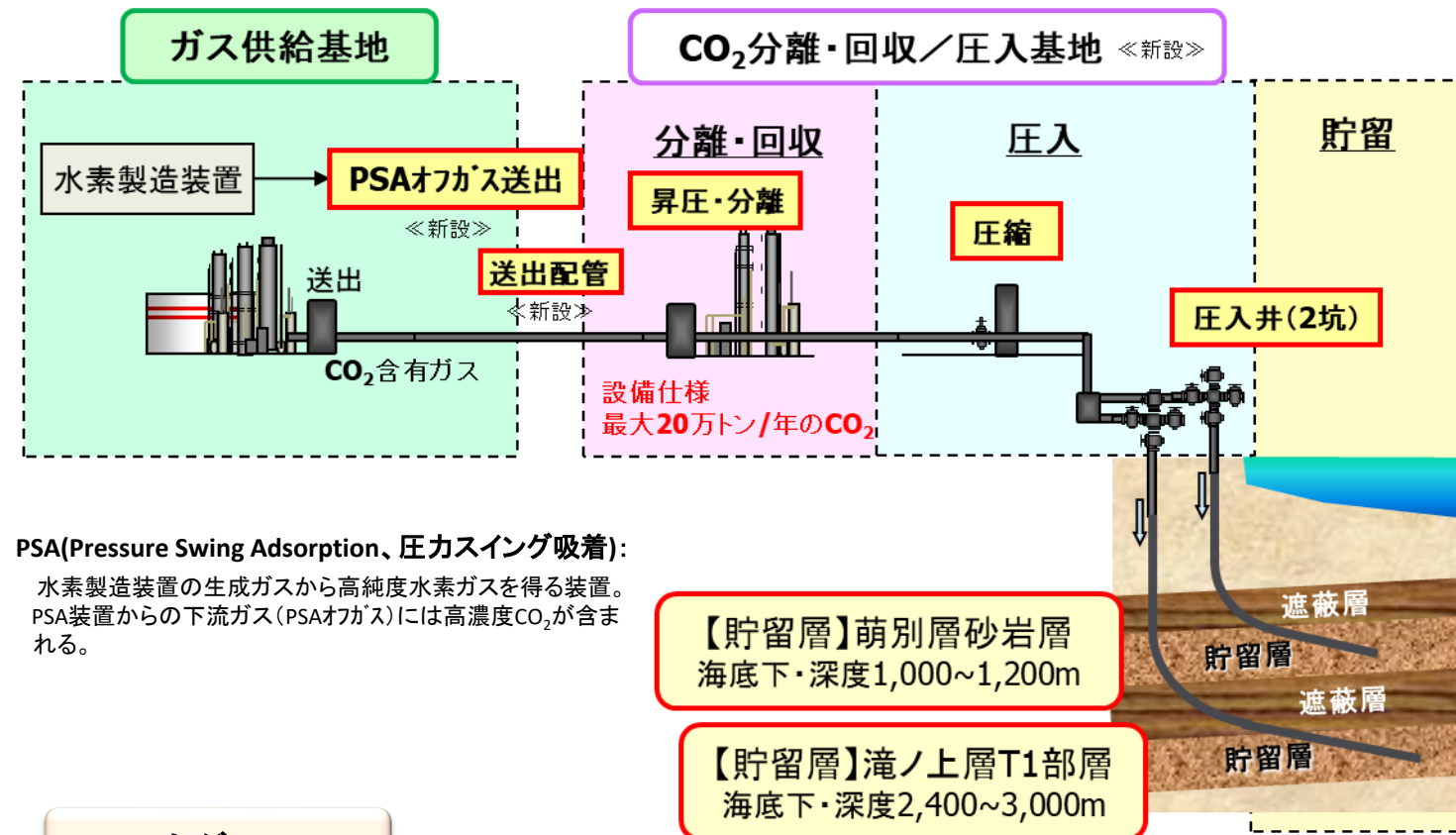
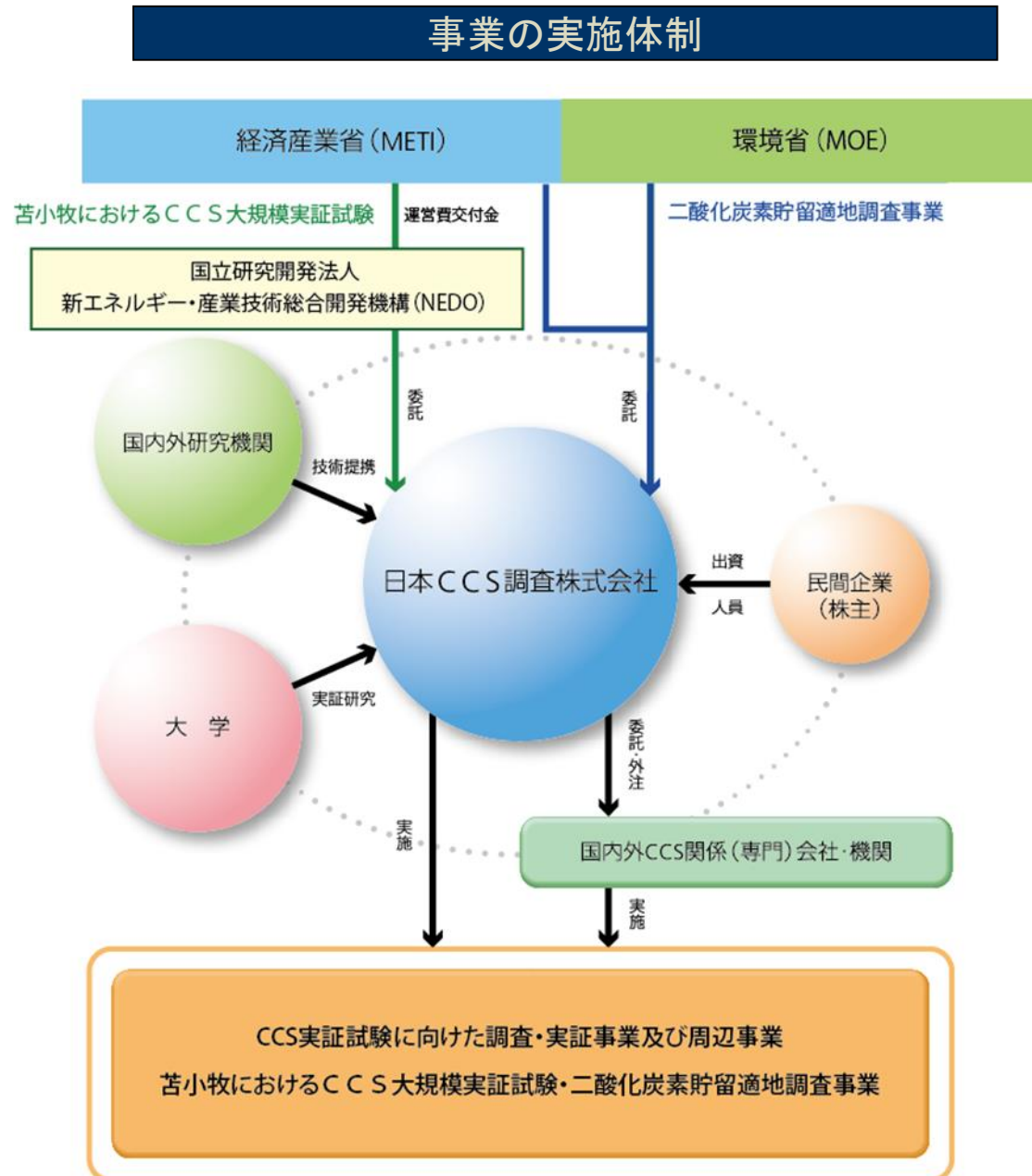
さらに、2016年4月、当社は、経済産業省より「平成28年二酸化炭素削減技術実証試験事業」を受託し、同年4月6日より、分離回収した二酸化炭素の圧入を開始しました。

2016年から2018年までの3年間では、引き続き国家プロジェクトとして、合計30万トン以上のCO₂を圧入する予定です。圧入終了後も継続して、2年間の監視(モニタリング)を実施する予定です。

2. 事業の詳細

商業運転中の製油所の水素製造装置を供給源として、CO₂を分離・回収、圧入に必要な圧力まで昇圧(最大23MPa)し、3年間で30万トン以上のCO₂を苫小牧沖の2つの貯留層に圧入する予定です。

2012~2015年度は、これら地上設備の設計・建設、圧入井掘削、およびモニタリングシステムの構築とベースライン観測等のCO₂圧入に向けた準備を行い、2016年4月より、海底下の地層へのCO₂圧入を開始しております。
(設備仕様 最大20万トン/年のCO₂)



3. スケジュール

